TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

イエスの7つの「私は...である」　私が命のパンである
ヨハネによる福音書 6:35

2025 年12 月 27 日 & 28 日
神永　譲(ジョエル）牧師

はじめに

TBC 渋谷キャンパスの皆さん、そしてスバ・バプテスト教会、トンガ・バプテスト教会、TBC 三郷の兄弟姉妹や友人の皆さん、こんにちは。今週末、TBC ウエストトウキョウでは礼拝は行われません。TBC ウエストトウキョウの皆さんは、渋谷に来られるかオンラインで参加します。

少し食べ物に関する質問をします。今はまだクリスマスシーズンで、これから冬休みやお正月に入る時期ですから、少し気まずい思いをするかもしれません。一般的に人々は 1 年の中で 12 月に最も多く食べ物を消費すると言われている、という記事を読みました。すでに触れたように、社交的な集まりやクリスマスや新年など祝祭が増えるからです。それでも、あえてお伺いします。

―この 2 か月６０日間、何も食べていない方はいらっしゃいますか？
―この 1 か月間３０日間、何も食べていない方は？
―この 21 日間はどうでしょうか？
―この８日間は？
―24 時間では？
どなたかいらっしゃいますか？

アメリカの医療情報サイト「ヘルスライン」によると、「専門家は人が食べずにどれくらい生きられるかについて正確な答えはもっていないが、食べ物や飲み物を取らず 8 日から 21 日間生き伸びた人たちの記録はある」と報告されています。(出典：https://www.healthline.com/health/food-nutrition/how-long-can-you-live-without-food)

この専門家たちが聖書について知っていたのかは分かりません、何故なら昼夜 40 日間断食したイエスの話には触れていないからです。

もし先ほどの質問に一つでも「はい」と明確に答えた方がいらっしゃったら、後で個人的にお話ししましょう。その生存の秘訣をぜひ教えていただきたいです。

新しいメッセージシリーズ

今日から新しいメッセージシリーズ、ヨハネによる福音書からのイエスの７つの「私は...である」　を始めます。今週とこれから私が説教をする予定の間には、1 つの「私は...である」に触れながら、このテーマに焦点を当てます。

イエスは言われました：

1. 「私が命のパンである。」（ヨハネによる福音書 6:35）
2. 「私は世の光である。」（ヨハネによる福音書 8 :12）
3. 「私は門である。」（ヨハネによる福音書 10:9）
4. 「私は良い羊飼いである。」（ヨハネによる福音書 10:11）
5. 「私は復活であり、命である。」（ヨハネによる福音書 11:25）
6. 「私は道であり、真理であり、命である。」（ヨハネによる福音書 14:6）
7. 「私はぶどうの木、」（ヨハネによる福音書 15:5）

今週は、ヨハネによる福音書 6 :35 を重要聖句として見ていきます。「私が命のパンである。」とイエスは言いました。「私のもとに来る者は決して飢えることがなく、私を信じる者は決して渇くことがない。」

場面の設定（ヨハネによる福音書 6:22-59）

この聖句の背景はヨハネによる福音書 6:22-59 に描かれています。このメッセージの重要ポイント理解のためにいくつかの聖句箇所を見てみましょう。

―イエスが大麦のパン五つと魚二匹だけで 5 千人を食べさせた(6:1-15)後に，群衆はイエスを探し、湖の向こう岸で見つけます。（22-25 節）
―イエスは群衆がなぜ自分を捜しているかご存じで、より多くの食べ物を得るためであり、他の理由ではありませんでした。「永遠の命に至る食べ物」それがイエスが彼らに与えるものでした。(26-27 節)
―群衆は、イエスを信じるためにしるしを求めます。（28-31 節）
―イエスは父なる神から与えられる「天からのまことのパン」について語られました。（32-33 節）
―イエスは「私が命のパン」であり、「子を見て信じる者が皆永遠の命を得る」ことであると明かしました。(34-40 節)
―ユダヤ人たちは、イエスが天の父から遣わされたと主張していることでつぶやき始めた、イエスの地上での両親を知っていたからです。(41-42 節)
―「つぶやき合うのはやめなさい。」イエスは言われました。「私をお遣わしになった父が引き寄せてくださらなければ、誰も私のもとに来ることはできない。」（43-46 節）
―イエスはわたしが命のパンであると、ご自身を示しながらより具体的に、私が与えるパンは、世を生かすために与える私の肉である、と繰り返しました。（47-51 節）
―命のパンであるイエスは、人がそれを信じさえすれば、その人たちに命を与えることができる。イエスは永遠に生きられるので、その命は永遠のものとなります。（52-58 節）
―これらは、イエスがカファルナウムの会堂で教えていたときに話されたことである。(59 節)

「私はある（いる）」の背景

―I am「私は...である」という表現は、ギリシャ語の“ego eimi の直訳です。
―旧約聖書の出エジプト記にあるように、主がイスラエルの民たちを奴隷から解放しエジプトから導き出すためにモーセを呼ばれたとき、

13 モーセは神に言った。「御覧ください。今、私はイスラエルの人々のところに行って、『あなたがたの先祖の神が私をあなたがたに遣わされました』と言うつもりです。すると彼らは、

『その名は何か』と私に問うでしょう。私は何と彼らに言いましょう。」[14] 神はモーセに言われた。「私はいる、という者である。」そして言われた。「このようにイスラエルの人々に言いなさい。『私はいる』という方が、私をあなたがたに遣わされたのだと。」[15] 重ねて神はモーセに言われた。「このようにあなたはイスラエルの人々に言いなさい。『あなたがたの先祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である主が私をあなたがたに遣わされました。』これこそ、とこしえに私の名 これこそ、代々に私の呼び名。」（出エジプト記 3:13-15）

これが、神様が初めてご自身の名前を明かす場面です--「私はいる」。イエスが同じ名前をご自身で使うとき、文字通りにまた実際に神様とご自身を同格にしており、ご自身を神と宣言しているのです。イエスは旧約時代の「私はいる」という者が今あなたと共にいて話していると明かしているのです。

W・M・ ヘンリーは著作の中でこう述べています。「『エゴ―・エイミ』は話者自身のアイデンティティを強調する表現である。」彼は、「私はいる」は 2 つのことを物語ると言います。一番目は「唯一性の反映」、二番目は「永遠性の反映」です。ヘンリーはさらに書いています「神様によって話されるとき、『私はいる』という名前は唯一性を強調しながら、自分のような者は他にいないことを宣言しています。神は他のすべてよりも優れておられます。それは絶対たる一神の宣言です。」二番目の「永遠性の反映」は「時間を超越する永久たる存在」であることを示します。神は常に自ら存在する唯一の方です。最初であり、最後である方、**「今おられ、かつておられ、やがて来られる方」（ヨハネによる黙示録 1:8）**です。（出典：The I AM Statements of Jesus, WM Henry, 8-9).

霊的生活におけるイエスの不可欠性

出エジプト記に記されているように、神様は民の不平に答えてユダヤ人の祖先に荒れ野で 40 年間、日用の糧である「マナ」を奇跡的に与えました。民が生きるため食べ物が必要だったように、当時の人々と今日の私たちの命に必須なものとして天から真のマナが降りてきました。この真のマナは「何か」ではなく「誰か」です。その誰かは人間です。イエスです！
次に、「霊的生活におけるイエスの不可欠性」について次の 3 つの側面から話します：起源、成長、賛美です。

1．あなたの霊的起源のイエスの不可欠性

イエスは私たちの霊的な始まり、生まれ変わり、再生にとって不可欠です。この福音の真実はあなたの救いの「過去」に及びます。

これはまた、イエスの犠牲的な死と勝利の復活がなければ、あなたは罪から解き放たれ、陰府の中の奴隷状態から救出され、救われることは出来ないことを意味します。「私はいる」である父なる神様が、息子の「私はいる」という方を遣わし、彼の肉と血を私たちの救いのために与えられたのです。

「[28] そこで彼らが、『神の業を行うためには、何をしたらよいでしょうか』と言うと、[29] イエスは答えて言われた。『神がお遣わしになった者を信じること、それが神の業である。』」（ヨハネによる福音書 6:28-29）

もともと私たちの堕落した救われる以前の状態では、私たちは何かの行いを通して、神の業さえも行おうとしながら、自分自身を救いたいと思います。しかしイエスは私たちに、いいえ、それは役に立たないと言います。神のご計画とは：あなたが私「神がお遣わしになったこの一人の者」を信じることです。

この場に、神のために何ができるか考えている方はいらっしゃいますか？他人に過ちを犯してしまったので、罪を償いたい、罪の意識を自分から遠ざけたいと思っている。ご存じのように、自力で自分を救える方法はありません。「私はいる」方だけがあなたを救えるのです。

すべての人が生きるためにイエスを必要としています！イエスは、地位や肌色、文化、言語に関わらず、全ての人のために存在しています。イエスは知的な人とそうでない人両方のためにいらっしゃいます。イエスは金持ちと貧しい人両方のため、また謙遜な人と傲慢な人両方のためにいます。イエスは、すべての人がこの世ともう一方の永遠の世界を生きられるためにいらっしゃいます。これについてもう少し話させてください。

皆さんがイエスの代わりに、自分の最も奥深い霊的な必要はそれによって満たされる、と信じている嘘は何でしょうか？ 皆さんが食べ続けてきた一時的な満足しか与えてくれない偶像のパンは何でしょうか。なぜイエスのもとに来てその方を信じないのですか。

イエスは言われた。「私が命のパンである。私のもとに来る者は決して飢えることがなく、私を信じる者は決して渇くことがない。（ヨハネによる福音書 6:35）

2．霊的成長のためのイエスの不可欠性

イエスは皆さんの霊的起源だけではなく、霊的成長にも必須な存在です。救いは「過去」の現実ではなく「現在」の現実です。この二つ目の福音の真理は皆さんの霊的な成長、よりイエスのようになることに及びます。

私たちは定期的に食べ物を、特にパンを食べますが、それは生存だけでなく成長し力強くなるためです。同じように、私たちはイエスを、成長し続けるために命のパンとして摂取するのです。

「[43] イエスは答えて言われた。『つぶやき合うのはやめなさい。』[44] 私をお遣わしになった父が引き寄せてくださらなければ、誰も私のもとに来ることはできない。私はその人を終わりの日に復活させる。[45] 預言者の書に、『彼らは皆、神に教えられる』と書いてある。父から聞いて学んだ者は皆、私のもとに来る。」（ヨハネによる福音書 6:43-45）

神は人々を教えることでイエスの元に彼らを導かれます。神に教えられた人たちは神の言葉を聞き学びます。私はこの神様の業が私たちの霊的起源のみならず、霊的成長にもつながっていると考えています。私たちを教えるのは神ご自身なのです。

ジェームズ・M・ ボイスは著作の中でこのように言いました。「私たちクリスチャンはなぜ弱弱しい態度をとるのでしょうか。間違いなく、私たちを成長させることができる唯一の方、イエスキリストを糧としていることに深く失敗しているからでしょう。」（出典：The Gospel of John, 470）

牧師のジョン・ペニ―レギオンはこのように言いました。「信じた初日には、与えられたパンに関して私たちはつぶやいたりはしません。その後に続いて供給される糧につぶやきます。私たちは、自分が望む賜物をもっていないから不平を言います。自分たちにふさわしいと思う子どもたちがいなくてつぶやきます。自分たちが望んできた仕事を得られなくて嘆きます。不満を言います。また、不満の中でイエスについて歪んだ見解を持っています。私たちのイエスに対する見解は、イエスは救い（私たちの誕生、起源）のための命のパンではあるが、私たちは今日のパンよりも（成長のために）より多くのものを必要としている。（“I AM Statements of Jesus, John Pennylegion, 7）

クリスチャンライフはイエスと共に生きる旅…毎日イエスと一緒に。もし一週間に一回しか食事しないなら、おそらく飢えるでしょう。人々が教会に来た時、いらいらしたり、我慢できなかったり、怒ったり、否定的な意味で飢えている状態にいるのは不思議ではありません。なぜならこの6日間、何も食べていないからで、私たちは何を期待するべきでしょうか？

3．霊的賛美のためのイエスの不可欠性

イエスは私たちの霊的賛美に必須です。救いは「過去」と「現在」の現実だけではなく、「未来」の現実でもあります。この救いの段階はあなたの賛美に及びます。これはあなたが新しい復活の体を受け取るときに起こります。

「[39] 私をお遣わしになった方の御心とは、私に与えてくださった人を、私が一人も失うことなく、終わりの日に復活させることである。[40] 私の父の御心は、子を見て信じる者が皆永遠の命を得ることであり、私がその人を終わりの日に復活させることだからである。」（ヨハネによる福音書 6:39-40）

もしあなたがイエスにあって「霊的起源」を経験したなら、皆さんは現在と未来において永遠にイエスにあって安全です。神学者たちはこの教えを「永遠の保証」と呼びます。この福音の真理は皆さんの今日と明日における人生に希望をもたらしてくれるでしょう。この福音の真理はみなさんの不要な心配事を取り除くでしょう。この福音の真理によって、みなさんはイエスにすぐ会いたくなるはずです！

結論

エデンの園で、神を信頼して生きる代わりの方法として提示された最初の誘惑は、食べ物に関することでした。エバが蛇の言うことを聞き、**「見ると、その木は食べるに良く、目には美しく、また、賢くなるというその木は好ましく思われた。彼女は実を取って食べ、一緒にいた夫にも与えた。そこで彼も食べた。」（創世記 3:6）** 罪と呼ばれる、神への不従順というその誤った行為は、聖なる神と私たち罪深い人間の間に計り知れない隔たりを生み出しました。

荒れ野で、全イスラエルの共同体が食料不足のためモーセとアロンに対して不平を言いました。この共同体は 60 万の成人男性と彼らの家族で構成されていました。おそらく全体として 200 万人くらいの人々がいたでしょう。数百万人が高ぶった口調でつぶやいている場面が想像できますか？神様を信頼する代わりに、彼らは不平を言い不満を表すことを選んだのです。

出エジプトの後にあったあの悲劇的な出来事の後、約 1500 年後に、また荒れ野で、悪魔は昼も夜も 40 日間断食したあと飢えているイエスに最適な提案をしました。**神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」（マタイによる福音書 4:3）**神の子であるだけでなく命のパンでもあるイエスなら、石をパンに変える力に頼ることもできたでしょう。飢えを満たすための十分な動機があったのです。しかし、イエスは天の父に頼り、父なる神様との関係を優先することを選びました。「イエスはお答えになりました。**『人はパンだけで生きるものではなく　神の口から出る一つ一つの言葉によって生きる』と書いてある。」（マタイによる福音書 4:4）**

神様がその民に約束したすべてのことが成就したとき、天国でその民は子羊の婚宴に招かれます。これは新郎であるイエスとその新婦、神に信頼を置いたすべての人からなる教会の結婚披露宴となります。これは栄光に満ちた祝宴になるでしょう！全宇宙でもっとも寛大な方である神様ですから、豊かでおいしい食べ物が提供されることは想像に難くありません。

さて、まさに今質問します。命のパンであるイエスと、皆さんは何をしますか？今飢えていますか？イエスはあなたの必要全てです！　イエスのところに来て、ぜひ信じてください。

もし招かれたいと思われたら、私か他の牧師先生方に話してください。駐車場にある JOY Café にいらっしゃるのも良いでしょう。毎週日曜日、9 時と 11 時の礼拝後にオープンしています。そこにいるチームメンバーたちと話すことができ、彼らはあなたのために祈ってくれます。

2026 年には、聖霊の力でもっとイエスを味わい、もっと聖書の御言葉を知り、世俗的なものを減らしていきましょう！

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール:cc@tokyobaptist.org
もしくは:https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
(毎週届くメールニュース)
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://t-b-c.us/sg5325jp

奉仕者募集中!

急募!

1.日本語訳レイアウト&印刷

(女性 2 名募集)

英語のスキルは必要ありません。

・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル:MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

2.礼拝メッセージ翻訳

・1 か月半~2か月に 1 度、自宅でできます。スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

連絡先:hiromik@tokyobaptist.org

★クラス 301
賜物発見
1 月 18 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 201 まで修了した、TBCメンバーの方

★クラス 401
人生の使命を発見する
2月 8 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 301 まで修了した、TBCメンバーの方

全クラス申し込み: https://t-b-c.us/classes